

自然豊かな水辺を残そう！

水生植物保全プロジェクト



参加者大募集！

10月30日(日) 11月13・27日(日)
12月11日(日) 各9:00～15:00

水辺の保全活動しませんか！？
- 外来植物と枯死植物の刈り取り -

自然豊かな水辺をみんなで復活させていきましょう。
まずは、絶滅寸前の植物をまもるための、外来植物
と枯死植物の草取り作業を実施します！作業に参加
していただける方を募集します。潟の植物と泥にま
みれて、みんなで楽しく作業しましょう！（詳細裏面）

どんな目的で、どんなことをするの？

秋に川や水路を見ると、ヒシのような水生植物が水面を覆いつくしている場所があります。それらは冬をむかえる前に一斉に枯れてしまいます。枯れて水中に栄養塩類が流れ出るまゝに、水辺からひきあげ、富栄養化の防止に貢献します。

もともとふつうにあった水生植物が、いま絶滅寸前の状態です。水辺の形状、水質、外来種など原因はさまざまです。生育旺盛な外来種は、追い打ちをかけるように希少な植物を絶滅させてしまいます。外来種の草取りをして、希少な水生植物の保全につとめます。

地点1 絶滅寸前のトチカガミを救う

ここは、トチカガミが生育する、河北潟で唯一の地点（2005年9月現在）。増えつつあるチクゴスズメノヒエをとりのぞきます！植物体の一部がすこしでも残っていたらそこから芽を出し、あっという間に大群落をつくるチクゴスズメノヒエ。地下茎をふくめてすべて取り除きます。



トチカガミの葉



アサザ（中央はチクゴスズメノヒエ）



ミクリ

ここは、ミクリが大群落をなす、河北潟で唯一の地点（2005年9月現在）。ミクリの生育状況は良好です。ヒシがこのあたりの水面を覆っており、枯れて下へ流れたり、腐る前にヒシを引き上げることにします。

地点3 アサザの群落をまもる

ここは、アサザの群落が毎年みられる地点（2005年9月現在）。人工的なコンクリート水路ですが、なにかのきっかけでアサザが残っています。これまでアサザ以外の植物はあまり生えていませんでしたが、ここにもチクゴスズメノヒエがはいつてきました。地点1同様、チクゴスズメノヒエをぜんぶ取り除きます。



地点2 ミクリ生育地を保全する



- 作業実施要項 -

【実施日】平成17年10月30日(日)、11月13日(日)、11月27日(日)
12月11日(日) 各9:00~15:00

【集合場所】津幡漕艇場前(津幡町) 【集合時間】午前9:00

【内容】現地集合後に3地点に分かれ、同時間に水質調査を実施。
その後各地点の目的に合わせた草取り作業をおこなう

【参加方法】作業に参加される方は登録が必要となります。
お手数ですが下記の連絡先までお申し込みください。

お弁当と交通費
がでるよ！